



命と時間

校長 羽田野庸史

9月16日(土)・17日(日)に行われた地域祭礼では、子供たちが地域の方々に大変お世話になりました。今年は、台風の影響もありましたが、いつもながらあらためて地域の方々が子供たちを温かく見守ってくださっていることに感謝申し上げます。

さて、文部科学省は、毎年、小・中、高校を対象に児童・生徒の問題行動調査を実施しています。その中で、ここ数年、小学生の暴力行為が課題となっています。東町小でも、自分の言いたいことが上手に言えなかったり、友達とうまくコミュニケーションが取れなかったりして、つつい手が出てしまうというケースがないわけではありません。

この夏、105歳で亡くなられた聖路加国際病院名誉院長の日野原重明先生は、2007年に「十歳のきみへー九十五歳のわたしから」という本を書かれましたが、それから8年経ってもっと力を込めて言いたいことができてきたと、2015年に「明日をつくる十歳のきみへー一〇三歳のわたしから」という本を書かれました。このもっと力を込めて言いたいことができたというのは、先に述べたような小学生の現状を踏まえてだと思われまます。本の中で「命を守るためには、人と人との争いをなくし、戦争をしない世の中にしなければならない」として、いじめや戦争のない世の中をつくるには、ゆるしの心をもつことが大切であると述べています。やられたからやり返すという考えでは、永久にけんかは終わらず、繰り返すうちにエスカレートしてだんだんおおごとになっていく。それが戦争の正体だと言っています。

また、命とは「自分が自由に使える時間」として、子供のうちは自分のもっている時間を全部、自分のために使ってもいいが、大人になったら自分の時間を他人のためにも使うことが大切であると述べています。

「ゆるしの心をもつこと」「大人になったら人のために自分の時間を使えるような人になること」この二つを身に付けた子供が増えていけば、世の中から争いや憎しみはなくなっていくでしょう。

2年と5年担当の丸智子ESTは、家庭の事情により、9月29日をもって退任となりました。2年についてはスチュアート・ニールソンESTと富田恵美ESTで、5年については矢島クリントESTと古川美代子ESTで運営いたします。諸事情をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いたします。

10月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	日	都民の日	
2	月	安全指導 クラブ	4~6
3	火	原爆についての特別授業(6年)	3~6
4	水		なし
5	木	4時間授業 研究授業(5年2組)	なし
6	金	避難訓練 LINE講演(6年生)	2~6
7	土	港区民まつり	
8	日	港区民まつり	
9	月	体育の日	
10	火		3~6
11	水	4時間授業 三菱自動車体験授業(5年) 研究授業(つぼみ教室)	なし
12	木	委員会発表集会 教育実習生研究授業	4~6
13	金	社会科見学(4年) 副籍間交流(1年2組) 通学路点検	なし
14	土	日本文化の時間 教育実習終了	なし
15	日		
16	月	委員会	5~6
17	火	区連合運動会(6年)	3~6
18	水	学校公開 テンプル大留学生による授業(1・2年)	なし
19	木	学校公開 音楽朝会 テンプル大留学生による授業(5年) 薬物乱用防止教室(5・6年) 学校説明会	4~6
20	金	生活科見学(1年)	2~6
21	土		
22	日		
23	月	親子読書開始	4~6
24	火	区連合運動会予備日	3~6
25	水		なし
26	木	体育朝会(1・2・3年)	4~6
27	金	体育朝会(4・5・6年) 4時間授業 研究授業(4年2組)	なし
28	土	日本文化の時間	なし
29	日		
30	月	いじめ防止対策委員会	2~6
31	火		4~6

10月の生活目標

生活指導主幹 三根 博喜

心と体をきたえよう

「健全な体には健全な精神が宿る」「健全な精神は健全な肉体に宿る」  
運動をすることは、健康で明るい毎日を送るためにも必要なことです。運動不足は体だけでなく、心に悪い影響があることもわかっています。  
体を鍛えることには、本当にたくさんのメリットがあります。体を鍛える効果としては、健康増進効果を第一に考えることができます。体を鍛えると、筋肉が増加して新陳代謝が活発になります。すると、全身の血行が良くなったり、内臓の働きが良くなったりして健康になるのです。鍛えている人の方が病気やケガになりにくいこともわかっています。  
また体を鍛えることは、簡単なことではなく、続けていくことが必要となります。体を鍛え続けることで、健康だけでなく、粘り強く取り組む忍耐の心を強くすることができたりするのです。